

都立病院のご案内



1 広尾病院	7 墨東病院	12 多摩総合医療センター
2 大久保病院	8 多摩北部医療センター	13 神経病院
3 大塚病院	9 東部地域病院	14 小児総合医療センター
4 駒込病院	10 多摩南部地域病院	
5 豊島病院	11 松沢病院	
6 荏原病院		



シンボルマークに込めた想い

東京(tokyo)の頭文字「t」と、病院の「十字マーク」に、両腕を広げる人の姿を重ねたイメージで、都立病院が安心の拠り所であることを表現
安心と信頼を感じさせるブルーとグリーンをベースに、光を感じる色調で、未来へ向かって東京の医療を支えていくことを表現

組織概要

設立日	令和4年7月1日
職員数	15,985人（令和6年4月1日現在）
許可病床数	7,094床（令和6年5月1日現在）
入院患者数	4,348人／日（令和5年度実績）
外来患者数	8,192人／日（令和5年度実績）

都立病院

<https://www.tmhp.jp>



SNSでも情報発信しています
@toritsubyouin



地方独立行政法人

東京都立病院機構

Tokyo Metropolitan Hospital Organization

【管理栄養士】職員募集案内

大都市東京を医療で支える



大都市東京を医療で支える

～都民の医療を支える管理栄養士～

外来・入院前から退院後までの
切れ目のない栄養管理を実践

1 病状にあった安全でおいしい治療食の提供

2 患者さん一人ひとりの病状に合わせた栄養管理の実施

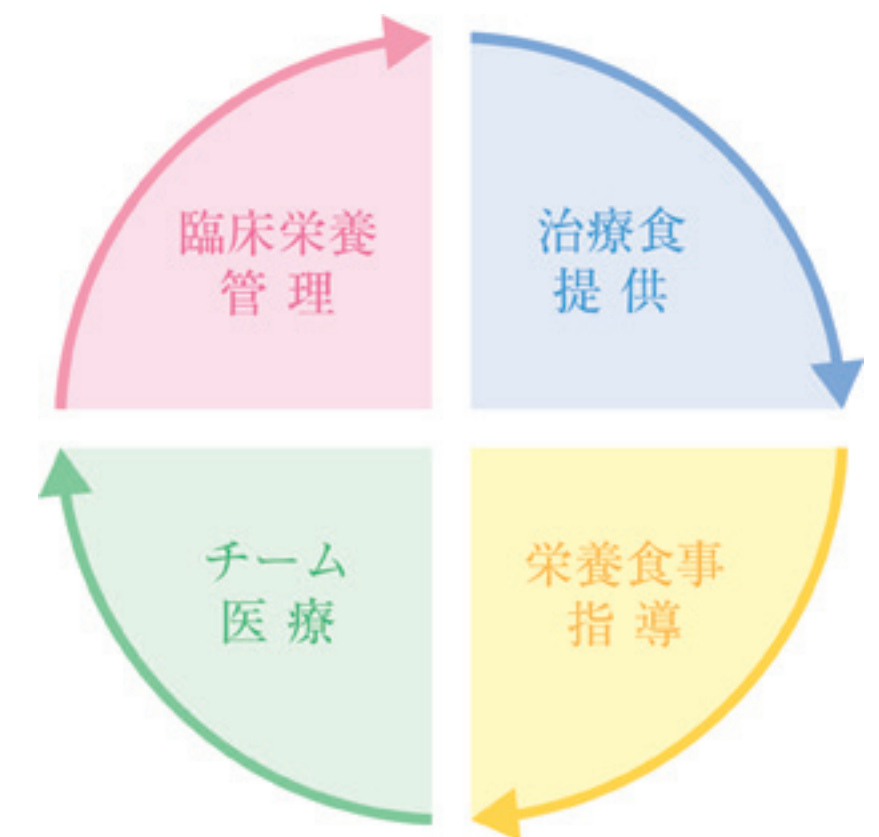
3 食事療法の実践を支援するための栄養食事指導の実施

4 研究・教育活動の実施

総合病院・専門病院

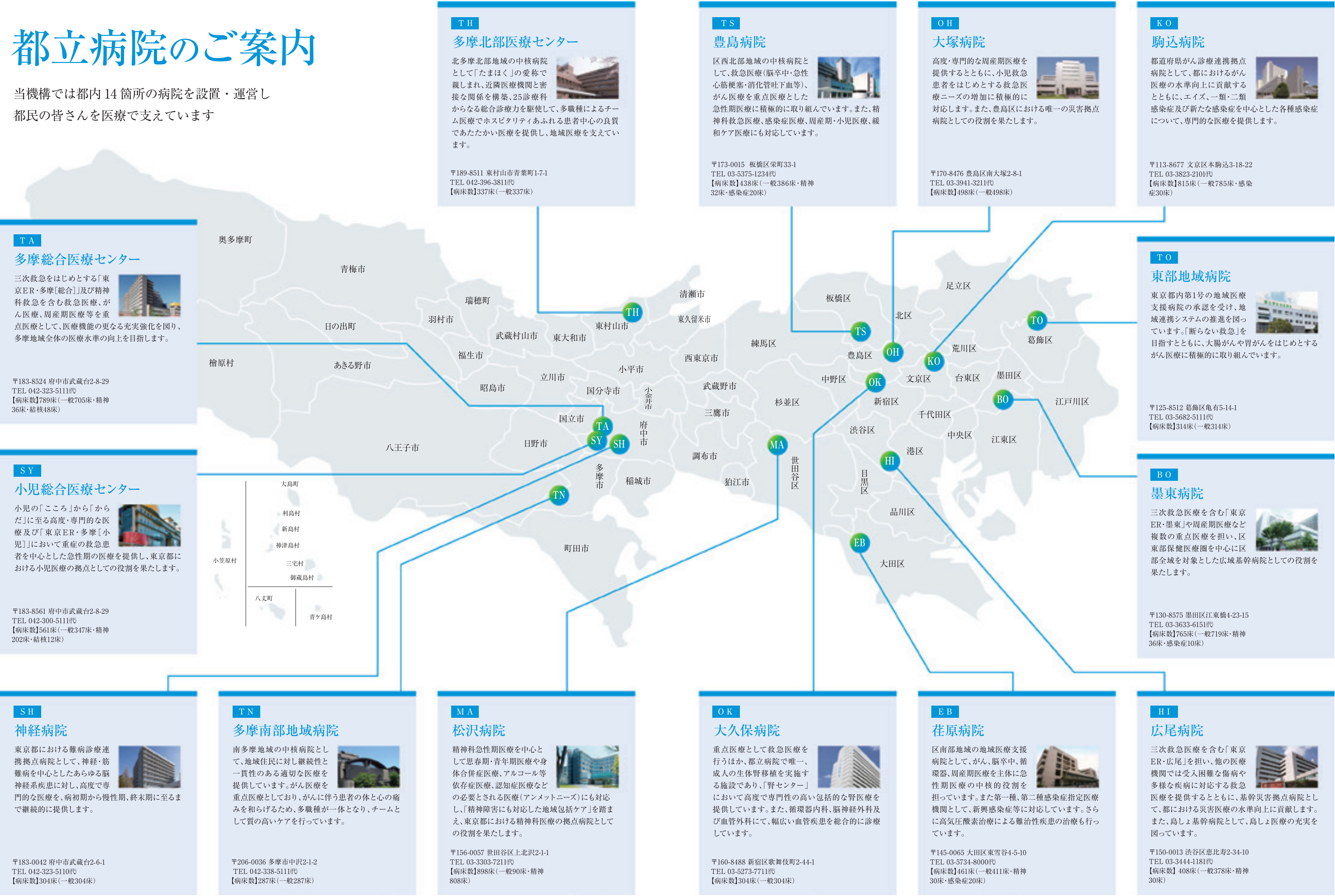
それぞれの特徴ある医療現場で
スキルを積むことができます

- ✓ 最新の知見の収集と技術の習得に努め、患者個々の疾病治療に寄与する栄養管理が実践できる
- ✓ 患者の人権・人格を尊重し、安全で質の高い医療を提供できる
- ✓ 多職種とコミュニケーションをとりながら、栄養面でのサポートに貢献できる
- ✓ 保健医療制度にも精通し、栄養科に係る収支を分析するなど、経営管理を行える
- ✓ 医療倫理およびコンプライアンスマインドを持っている



都立病院のご案内

当機構では都内 14 箇所の病院を設置・運営し
都民の皆さんを医療で支えています



臨床栄養管理

入院前から退院後までを支援します

1

食物アレルギーの問診や摂食嚥下機能の確認などを入院前に行います。
入院時、医師・看護師と共同し栄養管理計画を作成します。



2

安全でおいしい治療食の提供を行います。
各病院で約束食事箋を定め、治療食献立を作成します。患者さんの事情に応じた個別の調整も行います。



3

患者さんごとに立案した栄養管理計画に沿って栄養状態や喫食状況確認などのためにベッドサイドへ伺います。栄養状態に課題のある患者さんは、NSTをはじめ、各種医療チームと連携して課題の改善を目指します。管理栄養士は多くの医療チームに参加しています。



4

退院前カンファレンスでは、在宅に向けた栄養情報を提供しています。
また、退院後の療養にあわせて、栄養食事指導を行います。



5

退院後の患者さんを支える地域の医療・福祉関係者を対象に、勉強会や意見交換会を開催しています。



栄養食事指導

在宅での食事療法を支援しています

医師の指示に基づき、患者さん・ご家族に栄養食事指導を実施しています。
患者さんのライフスタイルを尊重し、疾病治療のために自宅で実践可能な食事療法と一緒に考え、提案します。



個別栄養食事指導

集団栄養食事指導

治療食の提供

病状にあった安全でおいしい治療食を提供しています

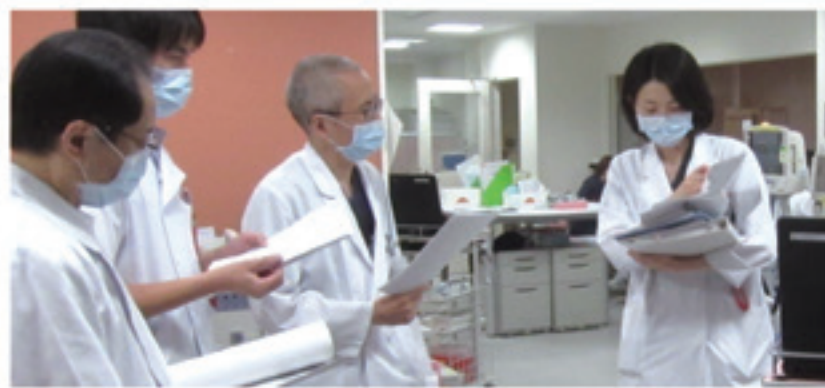
患者さんの年齢、性別、体格および病状や摂食嚥下機能に合わせた治療食を提供しています。
都立病院機構の管理栄養士は、自ら献立作成・調整を行うことで、患者さんの栄養状態の維持・改善、病気の早期治癒に、医療スタッフの一員として貢献しています。
また、行事・祭事や季節の食材・料理を取り入れた入院中の楽しみ、安らぎとなる治療食の提供を行います。



チーム医療

私たち管理栄養士は医療チームの一員です

病院ごとの診療内容に合わせた各種チーム医療が盛んに行われています。管理栄養士は積極的に参加して、栄養の専門家としての役割を果たし、患者さんの1日も早い回復に貢献しています。「栄養サポートチーム（Nutrition Support Team=NST）」では中心となって活動しています。そのほか、「褥瘡対策チーム」「緩和ケアチーム」「摂食嚥下サポートチーム」などで活躍しています。



NSTでは、スクリーニングにより、低栄養の患者さんをいち早く見つけ出し、医師・歯科医師、看護師、薬剤師、臨床検査技師、言語聴覚士等と共に専門性を発揮し、連携して患者さんを栄養管理の面からサポートしています。



管理栄養士は、栄養量の設定や栄養摂取状況の評価、食事や経腸栄養の内容などを提案します。

NSTでは「栄養状態が改善しない」「下痢や便秘などの消化器症状で困っている」など、様々な困りごとを抱える患者さんの栄養管理も行っています。他の医療チームや主治医と連携しながら、患者さんの栄養状態改善に取り組んでいます。また、栄養管理に関する検討会や講習会なども定期的に行っています。



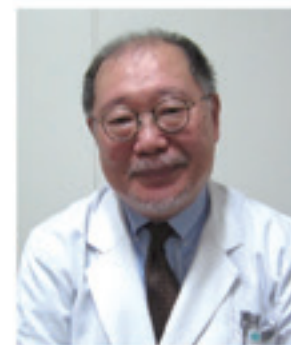
褥瘡対策チームでは褥瘡の予防・治療のための栄養療法の提案、緩和ケアチームでは特別な対応が必要な患者さんの食事調整や栄養相談、摂食嚥下サポートチームでは患者さんの摂食嚥下機能に応じた安全な食形態や食べ方の検討、特定集中治療室では早期経腸栄養開始に向けた栄養管理、糖尿病チームでは糖尿病の食事療法に関することなど、チームメンバーとして患者さんの治療に貢献しています。



病棟（診療科）カンファレンスでは、治療方針や患者さんの入院から退院までの支援内容について検討します。退院時（前）カンファレンスでは、退院先や退院後の方針等について情報共有します。また、カンファレンスに先駆けてミールラウンドを行い、患者さんの食事の状況を確認します。



糖尿病チーム担当医師より



院のチーム医療について内科医師の立場から紹介をいたします。当院は糖尿病については管理栄養士、薬剤師、看護師、理学療法士、そして医師によるチーム医療を行っております。また、当院の特徴は高度肥満に対する減量手術を、外科の医師だけではなく、管理栄養士、内科医師を交えた多職種によって運営しているということであります。糖尿病、そして肥満症の治療いずれにおきましても管理栄養士の役割は非常に重要です。また昨今では心不全の患者さんも非常に増えておりまして、そのなかで管理栄養士の栄養食事指導が患者さんの予後を大きく左右するということもあります。

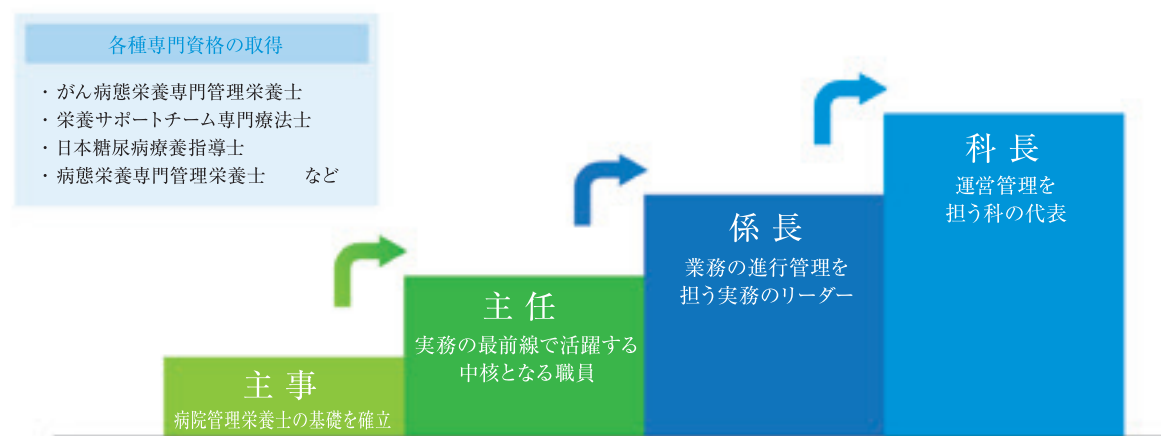
このように管理栄養士という職種は現在の最先端の医療のなかで大変重要な役割を果たしていると思います。多くの患者さんの直接のお役にたてるということで、非常にやりがいのあるお仕事ではないかという風に思います。志をもった多くの方々が、お仲間に入ってきてくださることを心から楽しみにお待ちしております。

東京都立多摩総合医療センター 内分泌代謝内科部長 辻野 元祥 医師

キャリアアップと研修

職員一人ひとりが目標に向かって
キャリアアップできるように支援します

業績評価制度や選考試験など、努力が報われるキャリアアップ制度を実施しています。



充実した資格支援

多くの管理栄養士が取得した資格を活かして活躍しています

取得が難しい学会資格や組織として計画的な育成・配置が必要な資格のうち、都立病院機構が認めたものについては、その取得にかかわる費用の一部や、取得に必要な実習や講習会参加の支援を行っています。

施設基準の算定に必須となる専門性の高い資格を持つ人材を、資格支援制度を活用して育成します。

■ 主な認定・資格の取得者数

認定・資格名	取得者数
栄養サポートチーム専門療法士	41名
日本糖尿病療養指導士	36名
病態栄養専門管理栄養士	35名
がん病態栄養専門管理栄養士	22名

*令和6年10月現在の認定・資格取得者数(休暇・休職中職員含む)となっています

*資格取得支援制度利用者以外も含まれています

このほか、腎臓病療養指導士、栄養治療専門療法士、日本摂食嚥下リハビリテーション学会認定士などの認定・資格取得者がいます。



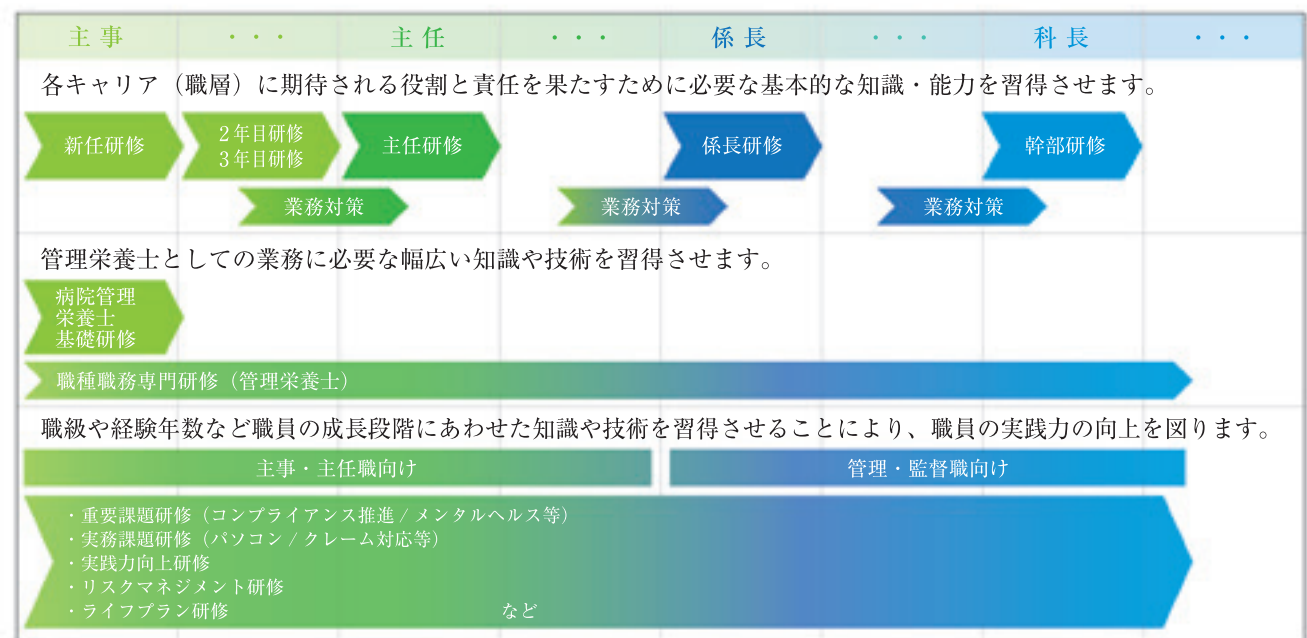
自己啓発

勤務時間外に職務と関連する自らの能力開発・向上を行う自主的な取り組みに対して、支援を行っています。資格試験の合格、講座の修了など、自己啓発の目標を達成した場合に、費用の一部を補助します。

主な支援の内容: 語学能力向上支援 など

特色ある研修 (Off-JT)

都立病院機構では、「自ら育つ、みんなで育てる」を合言葉とし、
職員一人ひとりが互いを尊重しながら、職場全体で職員の育成に取り組みます。



■ 病院管理栄養士基礎研修のカリキュラム (例)

入職1年目で受ける研修です。目標到達シートを使って達成度を確認します。



OJT

病院ごとに、一人ひとりの職員にきめ細かいOJTを実施しています。また、「チューター制度」も導入し、新任職員が安心して仕事に取り組むことができるように、先輩職員がチューターとして、能力開発や職場生活をサポートしています。



業績評価制度

評価者(上司)とのヒアリングを経て各職員が1年間の業務目標を設定し、中間期、期間終了期に業務目標の達成度などについて評価を行います。

評価は、職員は自己評価を行い、評価者は自己評価も参考に最終評価を決定します。

その他

各都立病院、地域連携医療機関(施設)、医師会主催の研修会・講演会など、多くの学べる機会があり、実践的かつ最新の知識・技能の習得ができます。

Interview 01

患者さんからも医療者からも
必要とされる管理栄養士を目指す

山中 佳奈
KANA YAMANAKA

2019年入職
東京都立荏原病院

Q1

担当する仕事を
教えてください



A 手術前後の栄養管理や退院前の栄養食事指導、化学療法による副作用で食事が摂れない方への食事の調整と外来での栄養食事指導を主に担当しています。また、隔週でICU病棟にも出向きます。そのほか献立管理も私の大切な仕事。調理業務受託会社の栄養士・調理師と定期的な会議を行い、患者さんの満足度をいかに上げていくかについて検討します。

Q2

栄養科の雰囲気は
どのようなものでしょうか



A 急性期病院であることや管理栄養士に求められる業務も多岐に渡るため、病棟や外来へ出向く時間が多いですが、事務室では、栄養管理上のちょっとした悩みや判断に迷うことなど気軽に相談ができます。休憩時間は世間話などをして和気あいあいと過ごしています。この時間があるから普段も相談しやすい雰囲気があるのだと思います。

Q3

忙しい日々のなか、それでも
チャレンジしたいことは



A 栄養管理に関する唯一の専門職として、より良い栄養管理を提案実践していきたいと思っています。現在、機構の資格取得支援制度を活用して、NST実地修練に行かせていただき、NST専門療法士取得に向けて挑戦中です。資格取得のための勉強は、知識の増加だけでなく仕事の幅も広がっていきます。今後、NST以外の資格にも挑戦していきたいです。

これから“仲間”になるかもしれない皆さんへ

患者さんに最善の医療を提供するには個々のスキルアップ、チーム医療は欠かせません。新しい刺激と学びを得ることができる都立病院機構で一緒に励んでいきましょう。

栄養・食を通じて、チーム医療の一員として治療に貢献できたときはやりがいを感じます！



Interview 02

さまざまな経験ができるのも
都立病院機構だからこそ

藤中 美波
MINAMI FUJINAKA

2023年入職
東京都立墨東病院

Q1

仕事内容について
教えてください



A 管理栄養士が病院給食の食材の発注作業から選定まで、調理以外の運営全てを担当することが墨東病院の最大の特徴です。私は肉や魚などの生鮮食品の発注を主に担当していて、価格交渉や気候などの影響で入ってこない食材の代替え発注などにも対応しています。そのほか、催しや季節に合わせた行事食の献立作成も任されるようになりました。

Q2

都立病院機構に入職を決めた
理由を教えてください



A 異動によって様々な経験を積むことができる点です。墨東病院であれば今は生鮮食品担当でも、半期に1度あるジョブローテーションで次は違う食材を担当するなど、給食管理全般の知識・技術習得が可能です。都内14病院全ての専門が異なるため、給食管理に留まらず、管理栄養士としての幅広い知識と技術を習得することができると考えています。

Q3

今、見えている将来のビジョンを
お聞かせください



A 当面は食種の違いを理解し、柔軟性を持って献立を動かせるようにしたいです。次に病態栄養専門管理栄養士の資格を取得し、学会への発表にチャレンジして自分に自信をつけたいです。将来的な目標は地域連携の強化をさらに進めていくことです。入院だけで治療が終わるケースは稀ですから、在宅や施設へ移行後も、病院管理栄養士の立場から患者さんの治療を支えている方法を探していきたいと考えています。

これから“仲間”になるかもしれない皆さんへ

毎日仕事をこなすのに精一杯な中でも、お互いが助け合って仕事をしています。悩んだらすぐに相談できる雰囲気があるから、1年目の時から不安なく仕事を覚えることができますよ。

困っていると誰かがすぐに声をかけてくださり、また、自分の意見も発言しやすい風通しの良い職場です。



ONE DAY

管理栄養士の日

食事は治療に貢献できる
患者さんの笑顔は私のやりがいです

患者さんの元気を取り戻す食事の提供にベッドサイドでの交流は必要不可欠。
患者さん一人ひとりに寄り添う管理栄養士でありたいと考えています。

佐々木 彩乃 AYANO SASAKI
2022年入職 東京都立大塚病院



08:45 出勤・担当病棟患者さんの確認

本日の業務の確認。前日に入院した担当病棟の患者さんの確認と栄養管理計画書の作成。

09:30 基本献立の作成

3週間先の実施献立の計画をたて、治療食の展開や栄養量、価格などが適正かを確認。

11:45 ミールラウンド

ベッドサイドで、担当病棟やNSTに依頼のあった患者さんの喫食量や咀嚼・嚥下機能などを確認。

12:30 昼 食

13:30 ミールラウンド後の食事調整

主治医や看護師にミールラウンド結果を報告。調整が必要な場合はその内容の提案と変更。

14:30 担当病棟のカンファレンスに参加

カンファレンスでは多職種で患者さんの治療方針などを情報共有。栄養状態や喫食状況、食事内容について提案。

16:00 受託会社現場担当者との献立に関する打ち合わせ

実施献立や食材の調達・管理などに関することについて調理業務受託会社現場担当の栄養士・調理師と打ち合わせ。

17:30 退 勤



My Life Work Balance ～私のライフワークバランス～

趣味は劇団四季の鑑賞です。俳優たちの声、立ち振る舞い、歌唱、全てが癒されます。12年間パレエを経験したせいか、舞台上で輝く人たちの姿を見ると、私も元気になります。最近では自分も輝きたい

と、院内の合唱サークルに入部しました。思いっきり大きな声で歌うことは最高に楽しく、日々の疲れを吹き飛ばします。



採用選考について

選考区分	選考内容
資格取得見込者	専門試験：記述式、選択式問題等 1時間30分 小論文：課題式(800字～1,200字) 1時間30分 面接試験：個別面接
有資格者	専門試験：記述式、選択式問題等 1時間30分 面接試験：個別面接

*採用選考の実施については、決まり次第ホームページ等でお知らせします。
*詳細については、「選考案内」にて発表します。

処遇等について

給与	初任給(4大卒) 217,900円 (短大3卒) 205,500円 (短大2卒) 199,200円 *管理栄養士としての経験は一定の基準により加算
手当	住居手当(34歳の年度末まで15,000円) 扶養手当、特殊勤務手当、超過勤務手当、資格手当 等
昇給・賞与	昇給 年1回(7月) 賞与 年2回(6月・12月)
社会保険等	東京都職員共済組合(健康保険、厚生年金保険)、雇用保険、 地方公務員災害補償基金 一般財団法人東京都人材支援事業団の正会員
勤務体制	4週8休制(週平均38時間45分勤務) (配属先によって土日祝日の勤務あり)
勤務時間	勤務時間(一例) *配属される病院によって異なります。 日勤 8:30～17:15 遅番 9:45～18:30
休暇	年次有給休暇(年間20日)、夏季休暇(5日) 等

*令和6年10月時点の予定です。変更となる場合があります。